

INS メイト FT80bt を
USB 接続または、RS-232C(シリアル)接続にて
Windows 7 のパソコンでご使用になるお客様へ

2009 年 11 月

<ご案内>

このたびは、INS メイト FT80bt をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本紙は、Windows 7 のパソコンで、INS メイト FT80bt をご利用になる場合における設定方法を説明しています。

- 【著作権者】 NTT 東日本 / NTT 西日本
【対象ユーザ - 】 INS メイト FT80bt を Windows 7 のパソコンで
 ご使用になるお客様
【転載条件】 転載禁止

《お知らせ》

Windows 7 のパソコンで本商品をお使いになる方は、本商品の Windows Vista 専用ドライバをあらかじめ以下の NTT 東日本 / NTT 西日本ホームページからダウンロードしておいてください。

NTT 東日本 <http://web116.jp/ced/support/index.html>

NTT 西日本 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/download/index.html>

本商品は、Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate の各日本語版の 32 ビット (x86) 版に対応しています。Windows 7 is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

もくじ

1. ソフトウェアのインストール	
1.1 お使いになる前に	3
1.2 ドライバのインストール	3
1.2.1 USB ポート接続の場合	3
1.2.2 RS-232Cポート（シリアルポート）接続の場合	5
1.2.3 インターネット接続の設定	8
1.2.4 インターネットへの接続	16

1. ソフトウェアのインストール

1.1 お使いになる前に

Windows 7のパソコンで本商品をご使用になる場合には、下記の手順で設定を行ってください。

お使いのパソコンによっては、Windows 7で表示される画面が、下記で説明している画面と異なることがあります。

作業手順

USB 接続の場合はUSBドライバのインストール、RS-232Cポート(シリアルポート)接続の場合はモデム定義ファイルのインストールをする。

インターネット接続の設定を行う。

1.2 ドライバのインストール

《ご注意》

Windows 7をご利用の際、ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。



上記画面は、ユーザーアカウント制御画面の一例です。

1.2.1 USB ポート接続の場合

USB ドライバの手動インストール

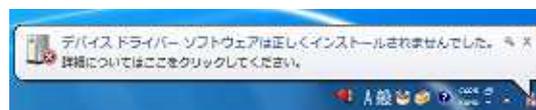
本商品をパソコンのUSBポートと接続して使う場合は、「INSx1ftFT80bt USB」をCOMポートヘインストールします。

1. Windows 7を起動する。

起動中のアプリケーションがある場合は、すべて終了させてください。

2. パソコンのUSB ポートと本商品のUSB ポートをUSB ケーブルで接続する。

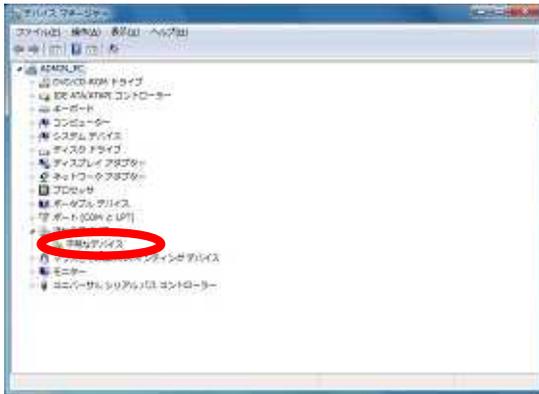
以下のようなメッセージが表示され、ドライバが正しくインストールされません。



3. Windowsの[スタート]ボタン [コントロールパネル] [ハードウェアとサウンド] [デバイスマネージャー]の順にクリックする。

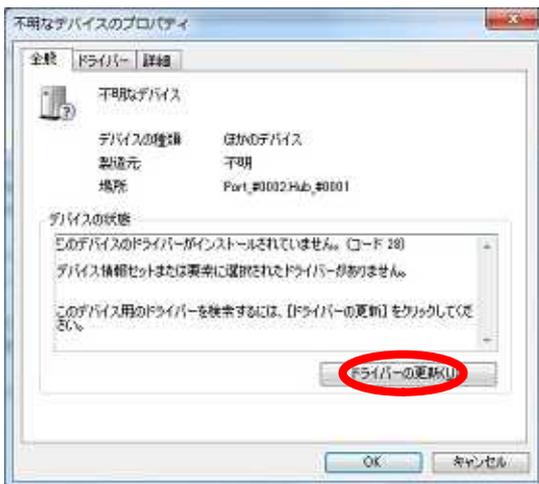
デバイスマネージャーが起動します。

4. ほかのデバイス 不明なデバイスをダブルクリックする。

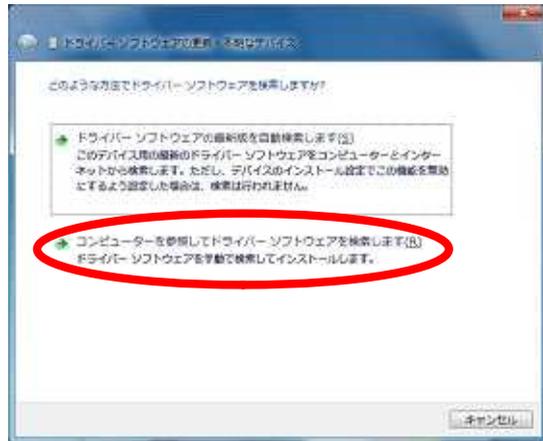


不明なデバイスのプロパティが表示されます。

5. [ドライバーの更新]をクリックする。



6. [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]をクリックする。

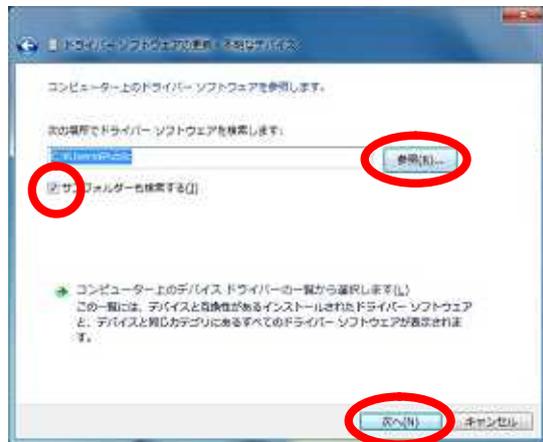


7. あらかじめダウンロードしておいたVista専用のINFファイルを、参照可能な場所に保存する。

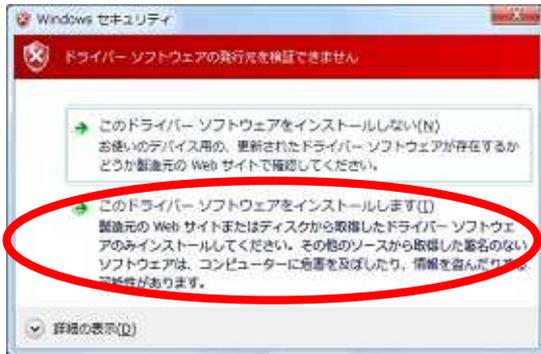
8. [参照]をクリックし、Vista専用のINFファイルが格納されたフォルダを選択する。

C:\User\Public (格納されたフォルダの例です。)

[サブフォルダも検索する]のチェックを外し、[次へ]をクリックする。



9. [このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックする。

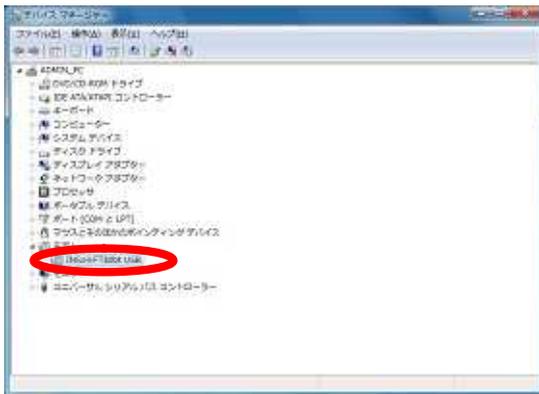


ドライバのインストールが終了します。

USB ドライバのインストールの確認

「INS MxIT FT80bt USB」が COM ポートへインストールされたことを確認します。

1. デバイスマネージャの[モデム]左側の「▷」アイコンをクリックし、「INS MxIT FT80bt USB」が表示されていることを確認する。



続けてプロバイダにダイヤルアップ接続するための設定を行います。P.8 「1.2.3 インターネット接続の設定」へ進んでください。

1.2.2 RS-232Cポート(シリアルポート)接続の場合

モデム定義ファイルの手動インストール

本商品をパソコンのRS-232Cポート(シリアルポート)に接続して使う場合は、「INS MxIT FT80bt」をCOMポートへインストールします。

1. Windows 7を起動する。

起動中のアプリケーションがある場合は、すべて終了させてください。

2. パソコンのRS-232Cポート(シリアルポート)と本商品のRS-232Cポート(シリアルポート)を接続する。

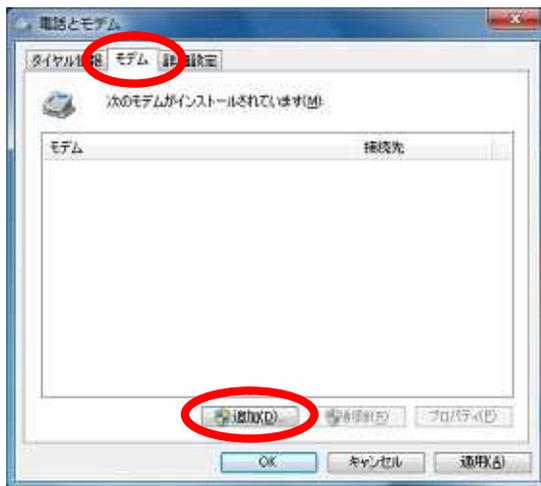
3. Windows の[スタート]ボタン [コントロールパネル]の順にクリックする。

コントロールパネルが表示されます。

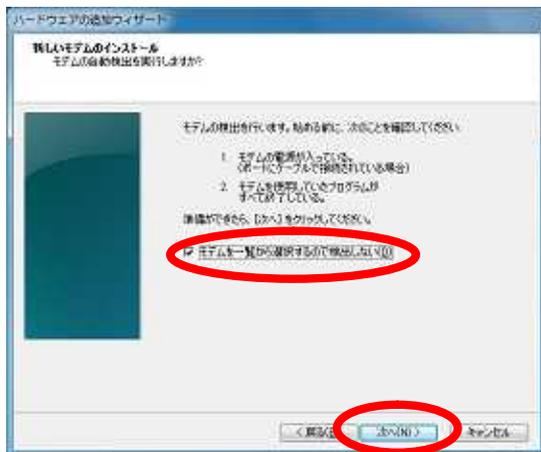
4. 表示方法を[小さいアイコン]に切り替え、[電話とモデム]をクリックする。



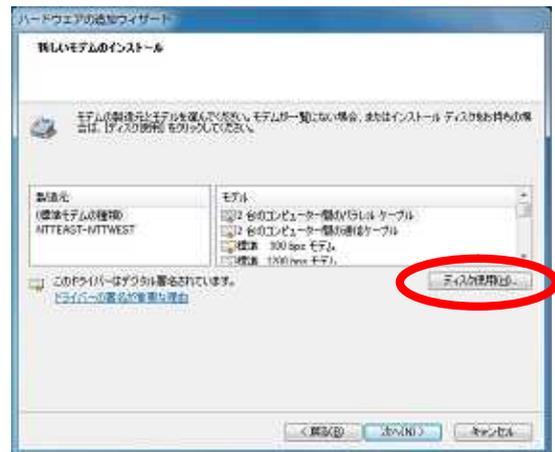
5. 「モデム」タブの[追加]をクリックする。



6. [モデムを一覧から選択するので検出しない]をチェックし、[次へ]をクリックする。



7. [ディスク使用]をクリックする。



8. [参照]をクリックし、『MDMFT80V.INF』ファイルを選択する。



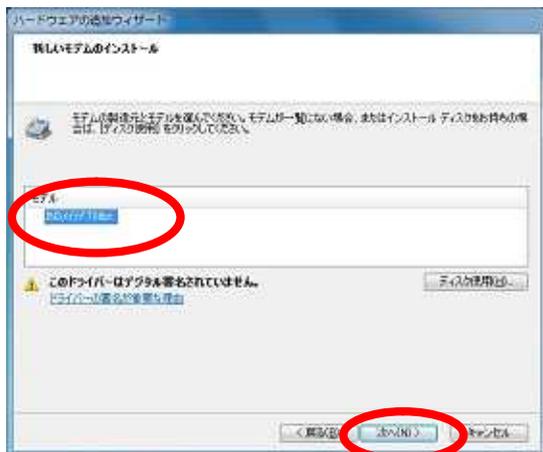
弊社ホームページからダウンロードしたモデム定義ファイル (MDMFT80V.INF) のパソコンへの保存先を指定します。

C:\Users\Publicに保存した場合を、例として記載しています。

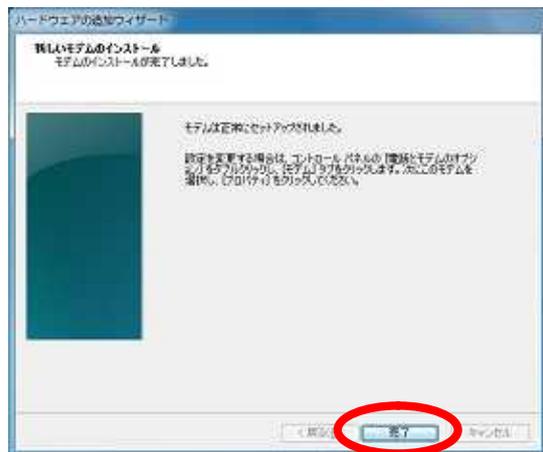
9. [OK]をクリックする。



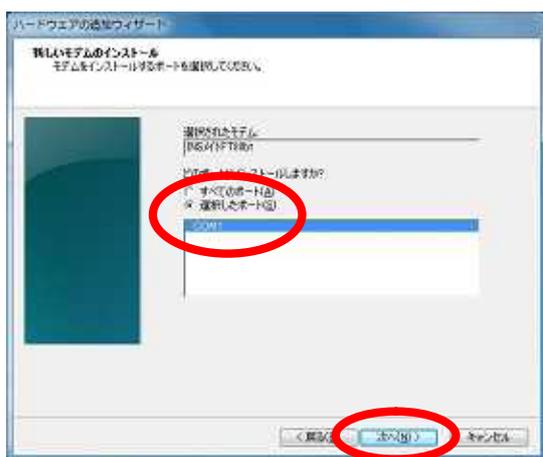
10. 「INS 対応 FT80bt」を選択し、[次へ]をクリックする。



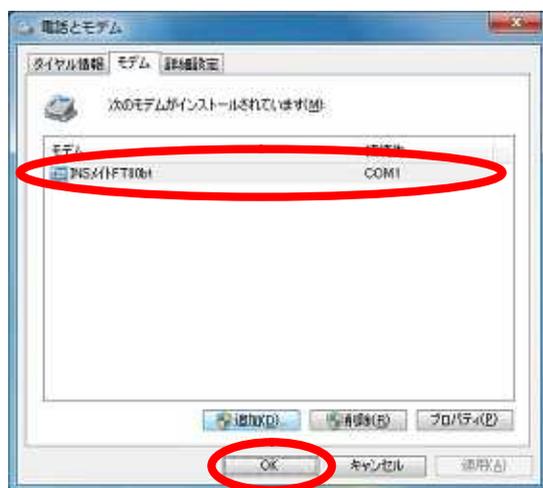
12. [完了]をクリックし、インストールを完了する。



11. 「選択したポート」のラジオボタンがチェックされていることを確認後、P.5 手順 2 で接続した COM ポート番号を選択し、[次へ]をクリックする。



13. 選択したモデム定義ファイルが追加されていることを確認し、[OK]をクリックする。



(COM1 はRS-232Cポート(シリアルポート)の例です。)

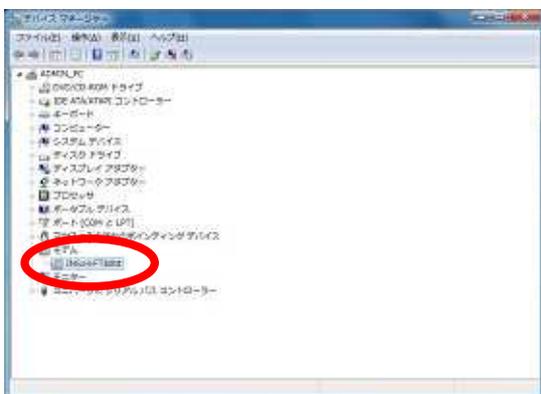
モデム定義ファイルのインストールの確認

「INS M1FT80bt」がCOMポートへインストールされたことを確認します。

1. Windowsの[スタート]ボタン [コントロールパネル] [ハードウェアとサウンド] [デバイスマネージャー]の順にクリックする。

デバイスマネージャーが起動します。

2. 「モデム」左側の「▷」アイコンをクリックし、「INS M1FT80bt」が表示されていることを確認する。



続けてプロバイダにダイヤルアップ接続するための設定を行います。次の「1.2.3 インターネット接続の設定」へ進んでください。

1.2.3 インターネット接続の設定

ダイヤルアップ接続アイコンの作成

プロバイダにダイヤルアップ接続するためのアイコンを作成します。なお、設定内容はプロバイダによって異なるため、詳細はご利用になるプロバイダにお問い合わせください。

Ethernetインターフェースを搭載したパソコンの場合、手順2の画面で「インターネットへの接続」が表示されない場合があります。

その場合は、P.10 の手順《「インターネットへの接続」画面が表示されない場合》でダイヤルアップ接続アイコンを作成してください。

1. Windowsの[スタート]ボタン [コントロールパネル]の順にクリックする。

コントロールパネルが表示されます。

2. 「インターネットへの接続」をクリックする。

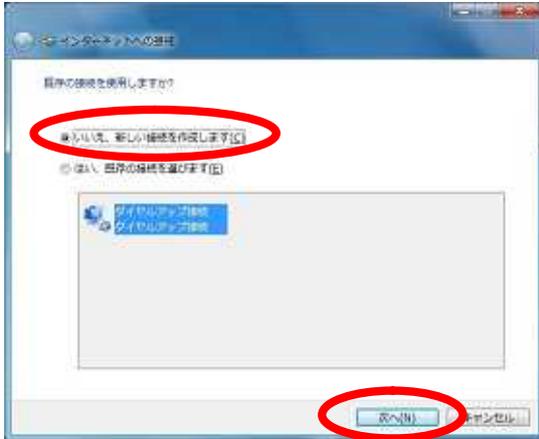


「インターネットへの接続」画面が表示されます。

《ご注意》

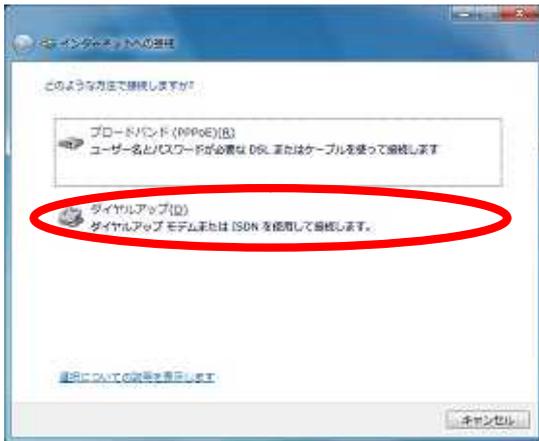
「どのモデムを使いますか」画面が表示されたときはINS M1FT80bt USB (USB 接続の場合) または、INS M1FT80bt (RS-232Cポート(シリアルポート)接続の場合) を選択します。

3. 既に接続アイコンが存在する場合は、「既存の接続を使用しますか?」画面が表示されるので、[いいえ、新しい接続を作成します]を選択し、[次へ]をクリックする。

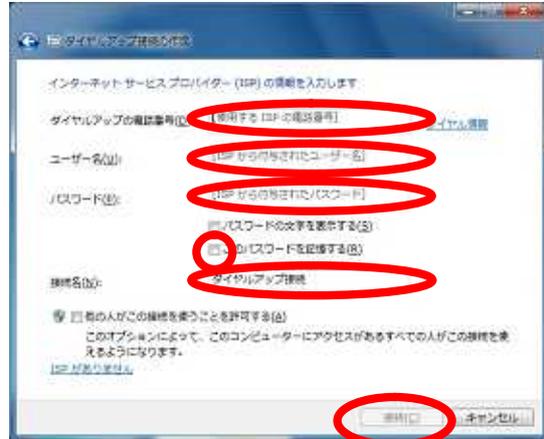


接続アイコンが存在しない場合は、画面は表示されません。

4. [ダイヤルアップ]をクリックする。



5. [ダイヤルアップの電話番号]、[ユーザー名]、[パスワード]、[接続名]を入力し、[このパスワードを記憶する]にチェックし、[接続]をクリックする。



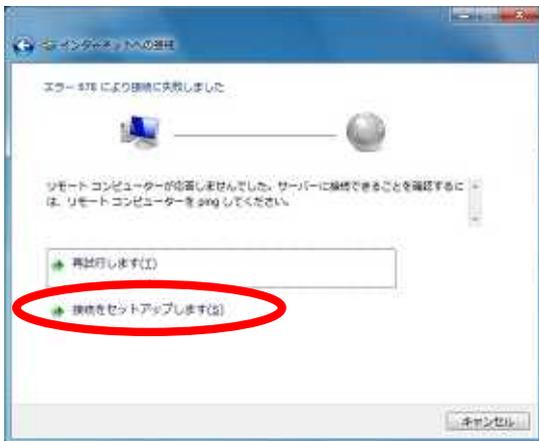
接続テストが行われます。

6. 接続テスト結果を確認する。

接続テストに成功の場合、[閉じる]をクリックして、手順7に進みます。



接続テストに失敗の場合、「接続をセットアップします」を選択し、[閉じる]をクリックして、次ページの手順《接続テストが失敗した場合》を行ってください。



7. 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されるので、ご利用の環境をクリックする。



「ネットワークの場所の設定」画面は、お使いのパソコンによっては、表示されない場合があります。表示されない場合は、次の手順へお進みください。

8. [閉じる]をクリックする。

9. インターネットへの接続を切断する。
タスクバーのネットワークアイコンをクリックする。



切断する接続先をクリックする。



[切断]をクリックする。



回線が切断されます。

《「インターネットへの接続」画面が表示されない場合》

Ethernet インターフェースを搭載したパソコンの場合、P.8 手順2の画面で「インターネットへの接続」が表示されない場合があります。その場合は、次の手順でダイヤルアップ接続アイコンを作成し、接続テストを行ってください。

1. Windows の[スタート]ボタン [コントロールパネル] [ネットワークとインターネット] [ネットワークと共有センター] [新しい接続またはネットワークのセットアップ]の順にクリックする。
 2. [ダイヤルアップ接続をセットアップします]を選択して、[次へ]をクリックする。
- P.9 手順5へ進んでください。

P.9 手順5の画面で[接続]ではなく[作成]が表示された場合は [ダイヤルアップの電話番号]、[ユーザー名]、[パスワード]を入力して、[作成]をクリックし、次項の《接続テストが失敗した場合》へ進んでください。

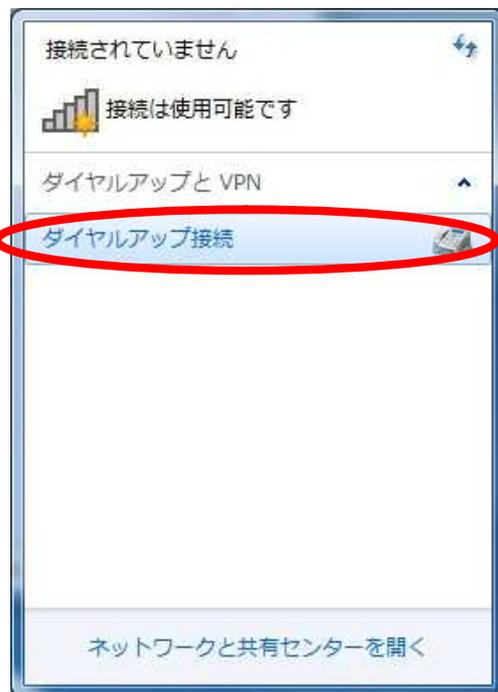
《接続テストが失敗した場合》

以下の手順を行ってください。

1. タスクバーのネットワークアイコンをクリックする。



2. 作成した接続先をクリックする。



3. [接続]をクリックする。

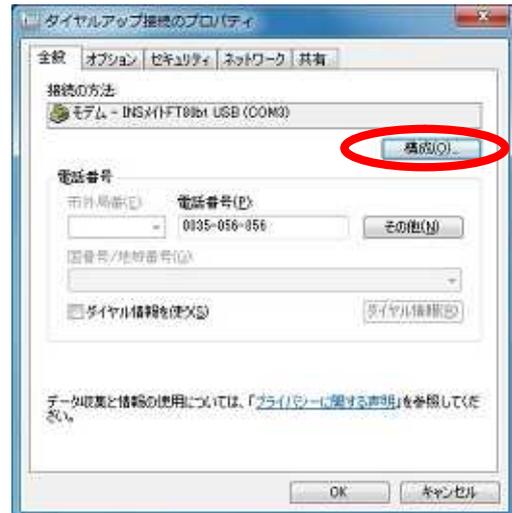


4. [ユーザー名] [パスワード] [ダイヤル]の各内容が正しいことを確認し、[プロパティ]をクリックする。



「ダイヤルアップ接続 プロパティ」画面が表示されます。

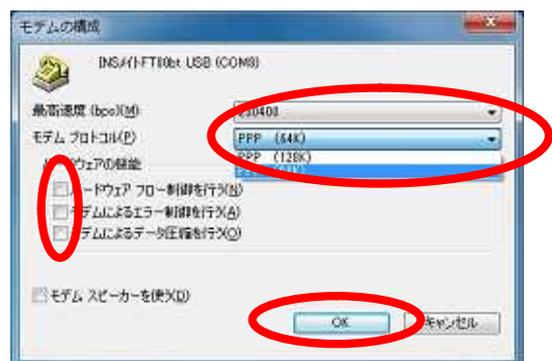
5. [構成]をクリックする。



「モデムの構成」画面が表示されます。

6. [モデムプロトコル]をご利用になる環境に合わせて、「PPP(128K)」または「PPP(64K)」に変更する。

「ハードウェアの機能」のすべてのチェックを外し、[OK]をクリックする。



7. 「ダイヤルアップ接続プロパティ」画面で[OK]ボタンをクリックする。



8. [ダイヤル]をクリックし、再度接続テストを行う。



接続テスト成功の場合、P.10 手順7に進みます。

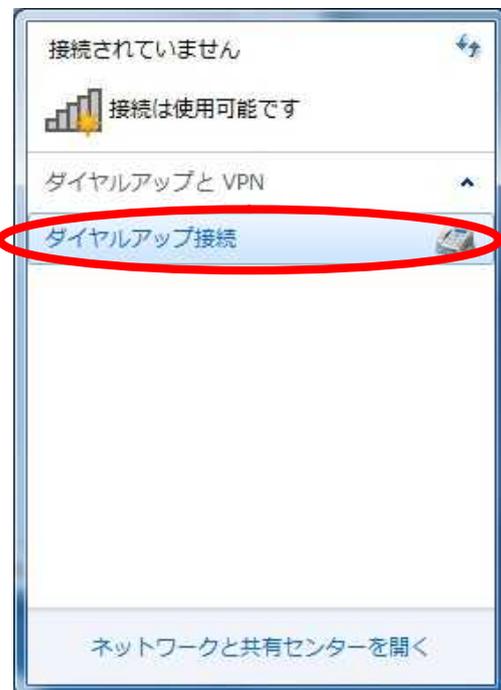
TCP/IP の設定

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバーの情報を設定します。プロバイダから通知された DNS(ドメインネームシステム)サーバーなどの情報が必要です。

1. タスクバーのネットワークアイコンをクリックする。



2. 作成した接続先を右クリックする。



3. [プロパティ]をクリックする。



「ダイアルアップ接続のプロパティ」画面が表示されます。

上記画面は、例として接続名を「ダイアルアップ接続」で、ダイアルアップ接続アイコンを作成した場合の画面です。

4. [構成]をクリックする。

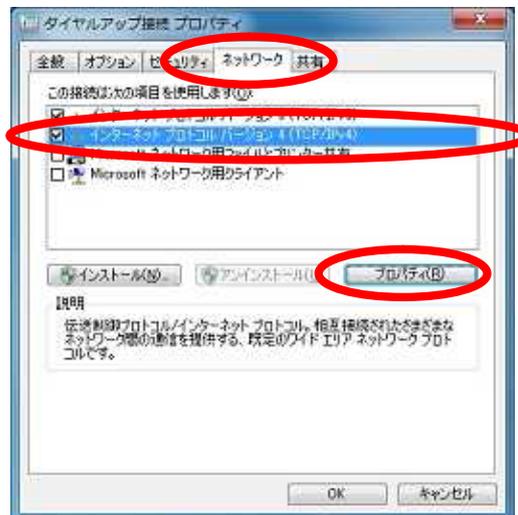


「モデムの構成」画面が表示されます。

5. 「ハードウェアの機能」のすべてのチェックを外し、[OK]をクリックする。



6. [ネットワーク]のタブを選択し、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックする。

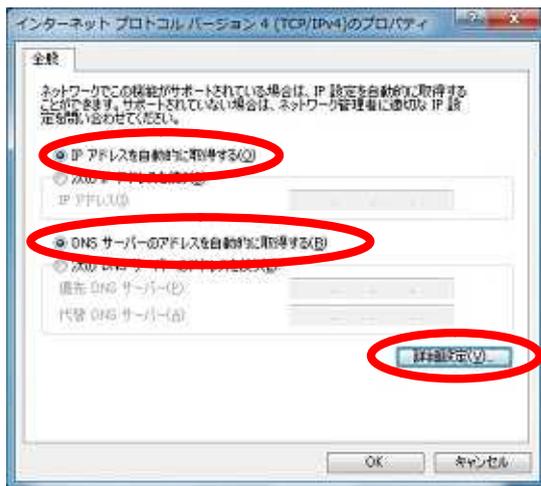


「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」画面が表示されます。

7. 「IPアドレスを自動的に取得する」がチェックされていることを確認し、DNSサーバーを設定する。

DNSサーバーから自動的に取得する場合は「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をチェックしてください。

プロバイダからDNSサーバーを指定されている場合は、「次のDNSサーバーのアドレスを使う」をチェックし、指定のDNSサーバーのIPアドレスを入力してください。



8. [詳細設定]をクリックする。

「TCP/IP 詳細設定」画面が表示されます。

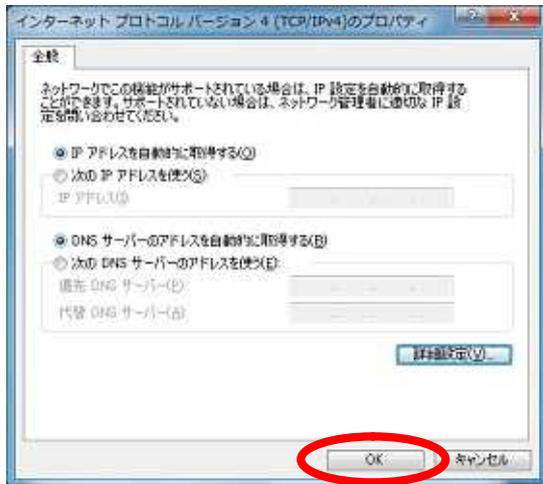
9. [IPヘッダーの圧縮を使う]のチェックを外し、[WINS]タブをクリックする。



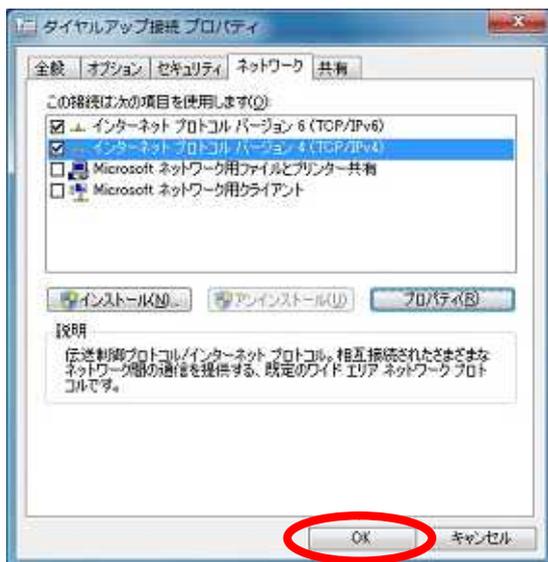
10. [NetBIOS over TCP/IPを無効にする]をチェックし、「OK」をクリックする。



11. 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」画面で[OK]をクリックする。



12. 「ダイヤルアップ接続のプロパティ」画面で[OK]をクリックする。



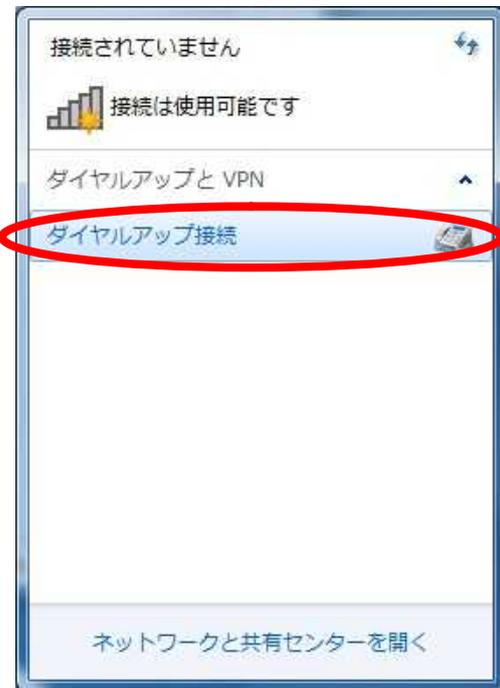
1.2.4 インターネットへの接続

プロバイダのサーバーに正しく接続できるか、接続操作で確認します。

1. タスクバーのネットワークアイコンをクリックする。



2. 作成した接続先をクリックする。



3. [接続]をクリックする。



4. [ダイヤル]をクリックする。



アクセスポイントにダイヤルされます。

「ユーザー名」と「パスワード」が確認され、インターネットへの接続が完了すると、タスクバーのアイコン表示が使用不可(×マーク)から使用可(×マークが消えます)に変わります。

5. 電子メールソフトやWWWブラウザなどのアプリケーションを起動する。

この状態で、さまざまなインターネットアプリケーションを使用できます。

6. インターネットへの接続を切断する。

タスクバーのネットワークアイコンをクリックする。



切断する接続先をクリックする。



[切断]をクリックする。



回線が切断されます。